

【分子栄養学特論演習】評価ルーブリック

評価項目	A (100点)	B (80点)	C (60点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
分子栄養学に関連する研究内容や最新の情報を収集することができる (A-1)	分子栄養学に関連する研究に関する分野に広く興味関心を持ち、自ら最新の情報を収集することができる。	分子栄養学に関連する研究に関する分野に興味関心を持ち、自ら情報を収集することができる。	教員の指導のもと、分子栄養学に関連する研究の情報を収集することができる。	分子栄養学に関連する研究に関心を持たず、情報を収集することができない。
課題解決に向けて、分子栄養学的な研究手法を用いた応用の提案と考察ができる (A-1)	本質的な課題を見出し、その解決に向けて、分子栄養学的な研究手法を用いた応用について、自ら深い思慮のもとに提案と考察ができる。	課題を見出し、その解決に向けて、分子栄養学的な研究手法を用いた応用について提案と考察ができる。	教員の指導のもと、課題解決に向けて、分子栄養学的な研究手法による提案と考察ができる。	課題解決に向けた分子栄養学的な研究手法の提案と考察ができない。
情報収集した内容や、自身が考案した研究方法について、プレゼンテーションすることができる (A-1)	広く情報収集した内容と、緻密で深い思慮のもとに自身で考案した研究方法や課題解決案についてプレゼンテーションすることができる。	情報収集した内容と、自身で考案した研究方法や課題解決案についてプレゼンテーションすることができる。	教員の指導のもと、情報収集した内容に基づいて考案した研究方法や課題解決案についてプレゼンテーションすることができる。	研究方法や課題解決案の考案とそれに関するプレゼンテーションができない。